

第 3 6 9 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 7 年 6 月 2 2 日 (月) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 6 時 2 0 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出 席 者 中 井 学 長、功 刀 理 事 (副 学 長)、三 浦 理 事 (副 学 長)、
神 子 理 事 (副 学 長)、青 柳 理 事
【オプザーバー出席】千 葉 副 学 長、小 沢 副 学 長、中 村 事 務 局 長、
平 山 監 事、高 橋 監 事

4 . 審 議 事 項

- (1) 平成 2 7 年 6 月 期 期 末 特 別 手 当 に 係 る 役 員 の 業 績 評 価 に つ い て 資 料 1
- (2) 第 3 期 中 期 目 標 ・ 中 期 計 画 (最 終 素 案) に つ い て 資 料 2
- (3) 平成 2 6 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て 資 料 3
- (4) 平成 2 6 年 度 決 算 に つ い て 資 料 4
- (5) 平成 2 8 年 度 概 算 要 求 に つ い て 資 料 5
- (6) 福 島 大 学 教 職 大 学 院 設 置 準 備 委 員 会 要 項 (案) に つ い て 資 料 6

5 . 報 告 事 項

- (1) 平成 2 6 年 度 期 末 監 事 監 査 報 告 に つ い て 資 料 7
- (2) 国 立 大 学 法 人 法 の 改 正 に よ り 監 事 が 調 査 す る 書 類 に つ い て 資 料 8
- (3) 平成 2 6 年 度 内 部 監 査 の 改 善 措 置 報 告 に つ い て 資 料 9
- (4) 全 学 入 試 改 革 W G の 設 置 に つ い て 資 料 10
- (5) その他

【 確 認 事 項 】

第 3 6 8 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

【 審 議 事 項 】

- (1) 平成 2 7 年 6 月 期 期 末 特 別 手 当 に 係 る 役 員 の 業 績 評 価 に つ い て
中 井 学 長 か ら 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、資 料 1 に 基 づ き、学 長 及 び 常 勤 理 事 に 係 る 業 績 評 価 に つ い て 説 明 が あ っ た。
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 経 営 協 議 会 の 議 を 経 る こ と が 確 認 さ れ た。
- (2) 第 3 期 中 期 目 標 ・ 中 期 計 画 (最 終 素 案) に つ い て
中 井 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、内 容 に つ い て は 評 価 室 長 か ら 説 明 す る と の 発 言 が あ っ た。
評 価 室 長 か ら、資 料 2 に 基 づ き、第 3 6 8 回 役 員 会 (平 成 2 7 年 6 月 8 日 開 催) 審 議、第 2 4 3 回 教 育 研 究 評 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 9 日 開 催) 審 議、学 内 構 成 員 か ら の 意 見 聴 取 等 を 踏 ま え た 修 正 点 に つ い て 説 明 が あ っ た。
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 教 育 研 究 評 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 2 2 日 開 催) 及 び 経 営 協 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 2 3 日 開 催) の 審 議 を 経 て 最 終 決 定 し、6 月 末 ま で に 文 部 科 学 省 に 提 出 す る こ と を 確 認 し た。
- (3) 平成 2 6 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て
功 刀 理 事 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、内 容 に つ い て は 評 価 室 か ら 説 明 す る と の 発

言があった。

評価室から、資料3に基づき、第368回役員会（平成27年6月8日開催）審議、第243回教育研究評議会（平成27年6月9日開催）審議、平成26年度決算及び学内構成員からの意見聴取等を踏まえた修正点について説明があった。

審議の結果、一部修正が必要なため継続審議とし、教育研究評議会（平成27年6月22日開催）及び経営協議会（平成27年6月23日開催）の審議を経たのち、平成27年6月29日開催の役員会で最終決定し、6月末までに文部科学省に提出することを確認した。

（4）平成26年度決算について

功刀理事から標記について提案があり、資料4に基づき、平成26年度決算に係る財務諸表等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして経営協議会の議を経て教育研究評議会に報告することが確認された。

（5）平成28年度概算要求について

功刀理事から標記について提案があり、資料5に基づき、平成28年度における国立大学法人運営費交付金の重点支援について説明があった。なお、概算要求における記載内容等については、今後の文科省折衝の中で修正や変更となる可能性があり得ることが付言された。

審議の結果、機能強化の取組構想の提案については「重点支援」とし、概算要求における最終的な修正及び施設整備順位等は学長に一任することで承認され、今後の手続きとして経営協議会の議を経て教育研究評議会に報告することが確認された。

（6）福島大学教職大学院設置準備委員会要項（案）について

中井学長より標記について提案があり、内容については人間発達文化学類長から説明するとの発言があった。

千葉人間発達文化学類長から、資料6に基づき、教職大学院の設置準備委員会要項（案）について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして教育研究評議会に報告することが確認された。

【報告事項】

（1）平成26年度期末監事監査報告について

中井学長から、国立大学法人福島大学監事監査規則に基づく平成26年度期末監事監査の結果報告を受けた旨の報告があり、内容については監事から説明願うとの発言があった。

引き続き監事から、資料7に基づき、監査方法の概要、監査の結果、その他の報告事項（11項目）について説明があった。

今後の手続きとして、経営協議会及び教育研究評議会に報告することが確認された。

（2）国立大学法人法の改正により監事が調査する書類について

中井学長より、内容については監事から説明願うとの発言があった。

監事から、資料8に基づき、国立大学法人法の改正により平成27年度から文部科学大臣に提出する書類を監事が調査する対象書類及び調査方法について報告があった。

(3) 平成 2 6 年度内部監査の改善措置報告について

中井学長から、国立大学法人福島大学内部監査規程第 2 1 条に基づく平成 2 6 年度内部監査の結果報告を受けた旨の報告があり、内容については監査室長から説明するとの発言があった。

引き続き監査室長から、資料 9 に基づき、内部監査における改善措置等の説明があった。

教育研究評議会に報告することが確認された。

(4) 全学入試改革WGの設置について

三浦理事から、資料 1 0 に基づき、役員会の下に設置する全学入試改革WGの概要について報告があった。

教育研究評議会に報告することが確認された。

(5) その他

なし。